

会議 議事録

会議名	第12回 地域連絡協議会		
開催日時	令和3年8月27日(金)	開催場所	書面開催
参加者	高橋健司(石川県健康福祉部医療対策課課長)、小鍛治雅人(金沢市福祉健康局健康政策課課長) 喜田徹(金沢市消防局局长)、安田健二(石川県医師会会長)、羽柴厚(金沢市医師会会長)、沖野惣一(河北郡市医師会会長)、石垣和子(石川県立看護大学学長)、松野茂夫(諸江地区民生委員児童委員協議会会長) 福島興士(患者代表) 村本弘昭(院長)		
欠席者	なし		

議事内容

1. 内容

(病院より報告)

- 1) 病院全体の診療評価指標
- 2) 主要な診療域別の質評価指標
- 3) その他の質評価指標
- 4) 参考

2. 質疑応答

(委員からの意見)

- ① 昨年度に引き続き、このコロナ禍の中、診療機能を維持されておられると思います。今後もコロナ診療と一般診療の両立をお願いしたいと考えます。
- ② 地域包括ケア病棟の在宅復帰率が上昇傾向にあり、頑張っておられると思います。病床利用率の令和2年度の低下は、コロナの影響が大きかったのではないかと思います。コロナ禍のために病院の収入、スタッフの労働環境などが大変だったのではないのでしょうか？
- ③ 医療・看護従事者等の体制には、変わりはないのですか？
- ④ 耳鼻科は、どうなったのでしょうか？
- ⑤ ロビー、各待合室等に掲示されてある広報、資料、チラシ等の文書掲示物は、どれ程利用され読まれているのでしょうか？置き場所や置き方が、なんとなく通り過ぎ、見えにくいように思います。全体的に健全な病院と確信しています。

(病院より回答)

- ① 今後も地域の皆様により良い医療を提供出来るよう努力いたします。
- ② ご意見のとおり、専用病棟でコロナ患者の受け入れを行っていることから病床利用率は低下しております。また併せて入院収益も減少となりました。その中でも労働環境についてはコロナ禍で大きく変化しましたが、職員一人一人が医療従事者としての自覚を持ちながら、精一杯この国難に立ち向かってまいりました。
- ③ 従事者の人数等は大きな変化はありません。診療体制につきましては、感染対策を徹底し日々業務にあたっております。

- ④ 耳鼻科の医師は現在非常勤となっており、引き続き常勤の確保に向けて努めてまいります。
- ⑤ ロビー、各待合室等の掲示物については、建物の構造上限られた場所となっておりますが、今後は見えやすいように工夫をしていきたいと思っております。この度は貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。